

[株主のみなさまへ]

第22期 第3四半期 決算のご報告

2025年4月1日から12月31日まで

証券コード:6674

3rd Quarter Digest

連結業績ハイライト

売上高

4,329 億円
前年同期比 +1.4%

営業利益

379 億円
前年同期比 +19.5%

のれん等償却前
385 億円

経常利益

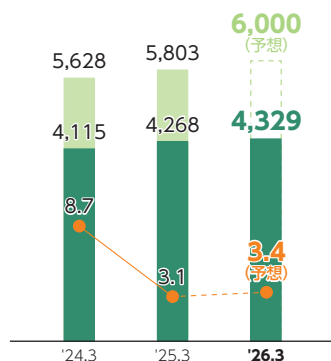
367 億円
前年同期比 +28.1%

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

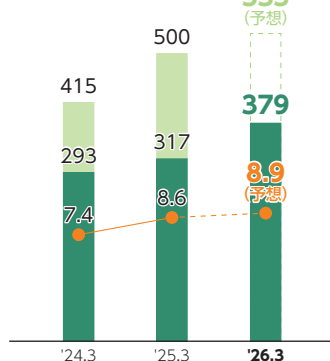
220 億円
前年同期比 +20.0%

のれん等償却前
225 億円

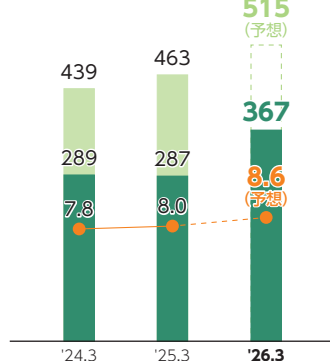
売上高(億円) ■ 3Q ■ 通期
売上高成長率(%) ● 通期



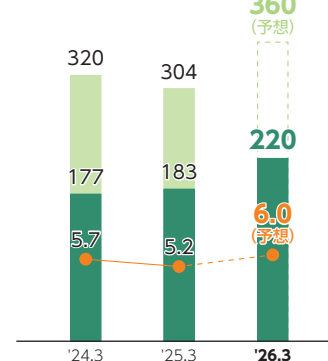
営業利益(億円) ■ 3Q ■ 通期
営業利益率(%) ● 通期



経常利益(億円) ■ 3Q ■ 通期
経常利益率(%) ● 通期



四半期(当期)純利益(億円) ■ 3Q ■ 通期
当期純利益率(%) ● 通期



売上高・営業利益・経常利益の増加要因

- 自動車電池(国内)、産業電池電源および車載用リチウムイオン電池の売価見直しに加え、販売数量増加

四半期純利益の増加要因

- 遊休地の売却による固定資産売却益の計上

Full-year Forecast

通期予想

第22期(2026年3月期) 連結業績予想

第22期(2026年3月期) 配当予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
6,000億円 前年同期比 +3.4%	535億円 前年同期比 +6.9%	515億円 前年同期比 +11.1%	360億円 前年同期比 +18.4%

中間	期末	合計
30.00円/株 (実績)	60.00円/株	90.00円/株

ポイント

- インフレに伴う原材料価格や物流費・人件費の高騰や円安影響などがあるものの、第3四半期時点の業績上振れおよび各セグメントの事業環境を加味して各段階利益を上方修正
- 上記に加えて、政策保有株式の売却などを加味して、期末配当金を50円から60円に増配

売上高、各段階利益とも過去最高となりました。 また期末配当金を前回予想から10円増配し、 1株当たり60円(年間90円)の配当を予定します。



代表取締役
取締役社長 **阿部 貴志**

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界経済は、全体としては緩やかな回復が見られるものの、米国の関税政策に伴う影響や地政学リスク、金融市場の変動等、先行きの不透明な状況が続いています。

このような経済状況の中、当社グループでは、産業電池電源、自動車電池国内および車載用リチウムイオン電池の販売増加により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,329億83百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて61億68百万円増加(+1.4%)しました。これに伴い、営業利益は379億71百万円(のれん等償却前営業利益は385億56百万円)と前第3四半期連結累計期間に比べて61億96百万円増加(+19.5%)しました。経常利益は営業利益段階での増益や為替差損から為替差益へと転じた影響等により、367億84百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて80億64百万円増加(+28.1%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等が増加したものの、固定資産売却益の増加等により、220億71百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて36億76百万円増加(+20.0%)しました。

通期業績予想を修正し、売上高6,000億円、営業利益535億円、経常利益515億円、親会社株主に帰属する当期純利益360億円と、2025年度の業績予想は売上高、各段階利益ともに過去最高値を予想します。また、配当予想につきましては、期末配当金を前回予想の50円から10円増額して1株当たり60円(年間90円)に修正しました。



当社グループのSDGsの取り組み

4. 質の高い教育をみんなに | 5. ジェンダー平等を実現しよう



当社グループでは、SDGsに関連するさまざまな取り組みを行っています。

今回は4番「質の高い教育をみんなに」と5番「ジェンダー平等を実現しよう」に関連する取り組みをご紹介します。



GSユアサ 小学生ECO絵画コンクールを 毎年開催

当社のグループ会社である(株)ジーエス・ユアサ バッテリーは、お子様とご家族が一緒になって「環境とは何か」を考えていただくきっかけになることを願い、2009年より毎年「GSユアサ 小学生 ECO絵画コンクール」を開催し、小学生のお子様を対象に、「自然」を題材として描かれた絵画作品を募集しております。



第17回 GSユアサ
小学生 ECO絵画コンクール 金賞作品

詳しい内容はこちら

<https://gyb.gs-yuasa.com/csr/concours/2025/>



LGBTQ+への取り組みを 評価する「PRIDE指標2025」で ゴールド認定を初獲得

当社は、一般社団法人work with Prideが策定した職場における性的マイノリティ(LGBTQ+)への取り組みを評価する「PRIDE指標2025」で、初めて最高評価「ゴールド」に認定されました。



当社は「自律型人材の育成」と「多様性の受容と尊重」を推進し、企業理念である「革新と成長」の実現を宣言しています。また、多様性を競争力の源泉とし、一人ひとりの個性と能力を尊重することで、個人と組織がともに成長することを目指しています。

詳しい内容はこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/361>



当社グループのそのほかのSDGsの取り組みについては、「GSユアサのSDGsへの取り組み」WEBサイトをご覧ください。

<https://www.gs-yuasa.com/jp/company/sdgs.php>



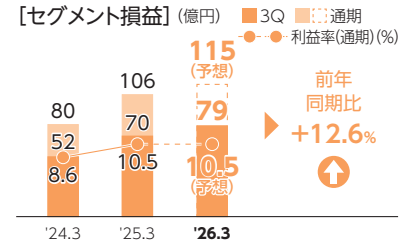
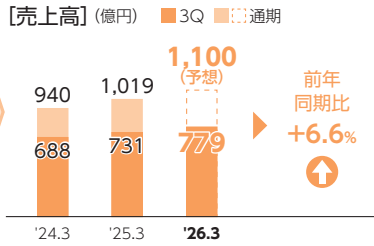
Segment Results

セグメント別連結業績

自動車 電池事業(国内)

増収増益

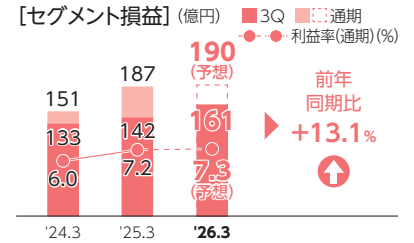
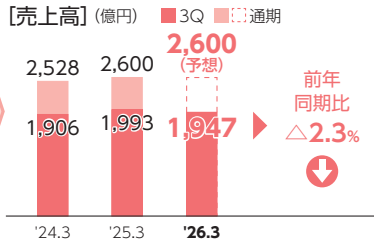
- ▶ **新車向け**
売価見直しにより売上高が増加
- ▶ **補修向け**
販売数量の増加に加え、製品構成良化により売上高が増加



自動車 電池事業(海外)

減収増益

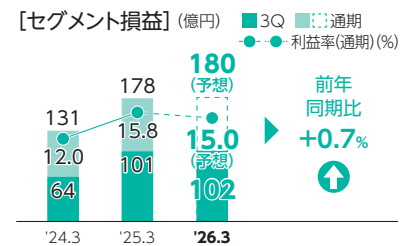
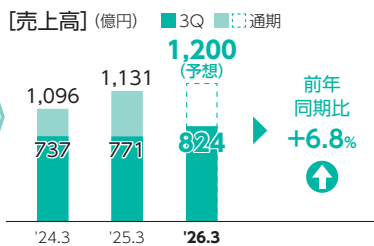
- ▶ **東南アジア**
主にタイ・ベトナムで補修市場における四輪用・二輪用の販売数量が堅調に推移
- ▶ **欧州、トルコ**
欧州は自動車用の販売数量が増加、トルコは市況の低迷で国内販売が大きく減少
- ▶ **豪州**
販売数量が引き続き堅調に推移



産業電池電源事業

増収増益

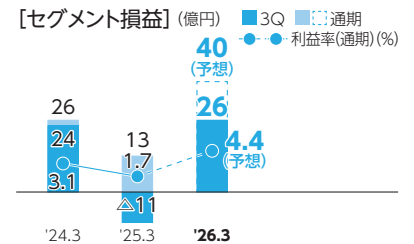
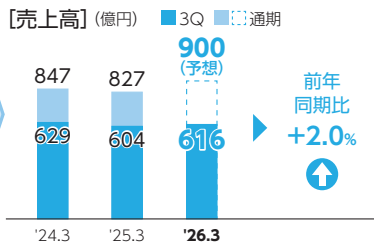
- ▶ **再生可能エネルギー用(常用)/国内**
案件の拡大などで売上高が増加
- ▶ **バックアップ用**
データセンターなどの需要拡大による販売好調に加え、通信関係で売上高が増加



車載用 リチウムイオン電池事業

増収増益

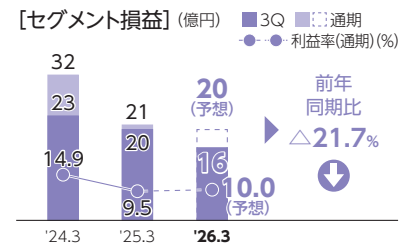
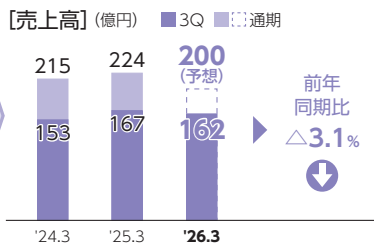
- ▶ **ハイブリッド車用**
ホンダ向け販売数量が大きく拡大し、売上高が増加
- ▶ **プラグインハイブリッド車用**
三菱自動車向け販売数量が増加し、売上高が増加



特殊電池およびその他事業

減収減益

- ▶ **潜水艦用リチウムイオン電池**
契約単価見直しにより売上高は減少
- ▶ **航空機用リチウムイオン電池**
新設向け・エアライン(補修)向けともに売上高は減少

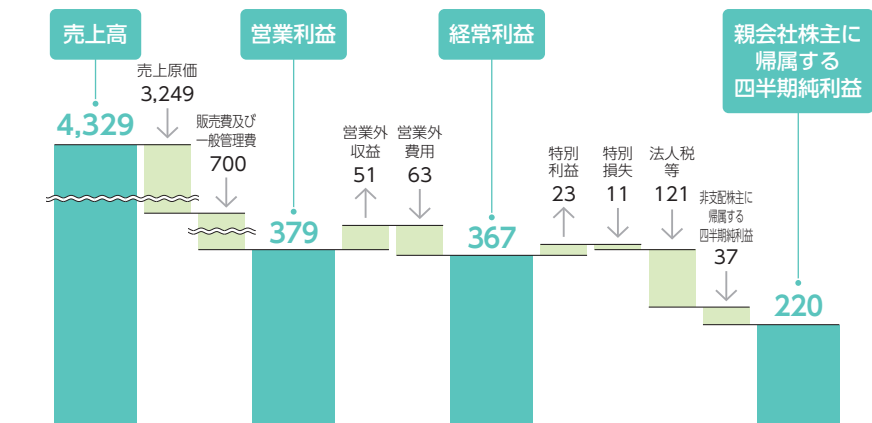


(注)セグメント損益はのれん等償却前営業利益です。

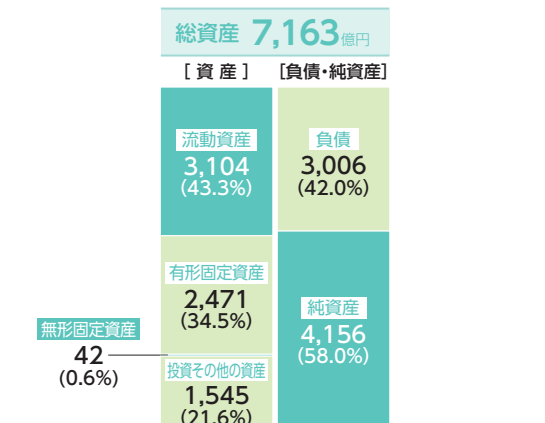
Financial Statement

財務諸表

連結損益計算書 [当第3四半期] (2025年4月1日~12月31日) (億円)



連結貸借対照表 [当第3四半期末] (2025年12月31日) (億円)



西部ガスグループの太陽光発電所において、初めて再生可能エネルギー併設型蓄電池の運用がスタート

西部ガスグループのエネ・シード(株)がエネ・シード長崎第2太陽光発電所(以下、本発電所)に導入した蓄電池の運用を2025年10月25日から開始しました。西部ガスグループにおける再生可能エネルギー併設型蓄電池の運用開始は、本発電所が初めてとなります。本発電所では、東芝エネルギーシステムズ(株)(以下、東芝ESS)がアグリゲーターとして発電される電力の運用を、(株)GSユアサ(以下、GSユアサ)が蓄電システムの納入・保守をそれぞれ行うことで、発電所の収益安定化・安定稼働にそれぞれ貢献します。

GSユアサは自社製造する「純」国産の蓄電池・パワーコンディショナを納入。これらが上位システムからの制御を受けて充放電を行います。また、常時、蓄電池全セルの電圧監視・異常予知およびシステムの状態監視を行い、システム全体の信頼性を担保します。万が一の故障発生時には業界最大級の全国サービスネットワークで早期復旧を可能とし、製品の信頼性とアフターサービスにより本発電所の安定稼働に貢献します。

なお、本発電所に続き運用開始予定である北九州市の太陽光発電所4カ所においても同様の体制にて連携を図ります。

西部ガスグループ、東芝ESSおよびGSユアサは、それぞれの強みを活かした取り組みにより、カーボンニュートラル社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。



GSユアサ製蓄電池設備



長崎第2太陽光発電所に導入した蓄電システム

2025年10月27日のニュースリリースはこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/359>

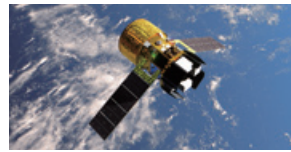


宇宙用リチウムイオン電池が新型宇宙ステーション補給機1号機(HTV-X1)に搭載

当社のグループ会社である(株)ジーエス・ユアサ テクノロジ製の宇宙用リチウムイオン電池が、新型宇宙ステーション補給機1号機(以下、HTV-X1)に搭載されています。

HTV-X1は2025年10月26日に、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)の種子島宇宙センターから打ち上げられ、最長6カ月間、国際宇宙ステーション(以下、ISS)に係留し、輸送カーゴの搬入や廃棄カーゴの積込みを行います。その後、ISSから離脱して最長1.5年間の軌道上飛行を続け、さまざまな技術実証ミッションを実施します。搭載電池は、機体が地球の影に入り日照が得られない区間で電力を供給する役割を担います。

当社は今後も高性能リチウムイオン電池の開発・製造を通じて、宇宙開発事業へ貢献してまいります。



HTV-X1 (提供: JAXA)



宇宙用リチウムイオン電池(セル)

2025年10月28日のニュースリリースはこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/357>



会社概要 (2025年12月31日現在)

商号	株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション (GS Yuasa Corporation)
事業目的	電池を中心とした事業を営む傘下のグループ企業の経営戦略を策定、統括し、グループの企業価値の最大化を図る。
設立	2004年4月1日
資本金	52,841百万円
本社所在地	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 電話(075)312-1211
ホームページ	https://www.gs-yuasa.com/jp/
上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場

お知らせ

当社の株主・投資家情報サイトが各社IRサイトランキングで表彰されました!

<https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir.html>



こちらからアクセスできます

IRメール配信サービスのご案内

当社の適時開示などIRに関する最新情報をメールでお知らせいたします。メールアドレスをお持ちの方ならどなたでも無料で登録いただけます。

<https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir/irmail.html>

登録はこちら

